

令和7年度 基金助成事業のご紹介

障害の社会モデルに基づく インクルーシブな学びの場推進事業

協働助成事業
〈テーマ希望型〉

イオン・さくらんぼWAON 子どもの健全育成支援事業
実施団体／NPO法人やまごや

本事業の目的は「障害の社会モデル」に基づき、全ての子どもが安心して学べる地域環境を整えることです。フリースクール「SORAI SCHOOL」にて、ICTによる学習支援や多様性理解の授業、スタッフ研修を実施。東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センターの飯野由里子氏や平林ルミ氏ら専門家を招いた報告会を通じて、現場で役立つ「合理的配慮」の具体策を共有します。教職員や保護者が共に学び、子どもが主体的に成長できるインクルーシブ教育のネットワークを、地域一体となって構築することを目指します。



寄附者からのメッセージ



イオン東北株式会社

代表取締役社長 辻 雅信 様

当社は「総合小売業として、東北の生活者に豊かな暮らしを提供し、最も東北に貢献する企業になる」をミッションとして掲げており、山形県内では29店舗が地域のお客さまに支えられ営業をしております。2010年10月に締結した地域包括連携協定の取り組みの一環として「山形さくらんぼWAON」を発行しており、ご利用金額の一部が「やまがた社会貢献基金」に活用されております。「山形さくらんぼWAON」をご利用頂いている全国のお客さまの善意が子どもたちの健全な育成などに役立てられており、今後も引き続き未来を担う子どもたちの様々な活動にお役立て頂ければ幸いです。

最上義光を大河ドラマにする会

協働助成事業
〈一般型〉

実施団体／NPO法人山形魅力再発見プロジェクト

「最上義光を大河ドラマにする会」はNPO法人山形魅力再発見プロジェクトの下部組織です。義光は、山形藩の初代藩主で、置賜地域を除く山形県域の基礎を築いた大名ですが、過小に評価されてきました。本会は、近年の研究成果を踏まえ新たな義光像を大河ドラマ化すべく、基金の支援を得て、活動を行っています。8月17日には第1回イベントを開催し、11月6日には山形市長とともにNHK本局を訪問し大河ドラマ化の企画提案を行いました。11月30日には第2回、2月8日には第3回イベントを開催しました。



日本さくらの名所100選の地「烏帽子山公園」 ～横に広げて、縦につないで～

協働助成事業
〈一般型〉

実施団体／烏帽子山千本桜保存会

「日本さくらの名所100選の地」に指定されている烏帽子山公園は、明治14年に町の人たちが花木を植えたことに始まります。本会は、この桜木と先輩の志を、「横に広げて縦につないで」次代に伝えていきます。

中心事業の一つに「赤湯小学校3年生との施肥協働作業」があり、今年で12年目、延べ千人以上が「地域の宝」に直接関わっています。特に今年は、本助成事業により、「記念缶バッジ」を配布することができました。全山が「わた菓子」のように咲く桜を見ながら缶バッジを出し、「僕がごはん(肥料)をやったんだ」と誇らしく語ってほしいものです。



“Music Library Project”… 創立名誉指揮者 村川千秋の軌跡を次代に継承していく

団体支援
助成事業

実施団体／山形交響楽団応援県民会議

11月9日、満席の山形市民会館にて開催した追悼コンサートは、2025年6月に92歳で逝去した山形交響楽団の創立名誉指揮者 村川千秋氏の生涯を振り返る機会となった。会場ロビーでの展示、生前の映像やお話しとともに、延べ300万人が体験したスクールコンサートで子供たちの感性を育んだ「動物組曲」、生涯を賭けたシベリウス作品を奏でる常任指揮者 阪哲朗氏と山響へ贈られた拍手は、村川氏が描いた未来への夢を共有し、継承していく特別な空気を生み出しました。

